

群馬通商株式会社



「配達した荷物を見ると やりがいを感じる」

K.H さん（22歳）

事業内容：トラック

職名：トラック運転手

令和7年より運転手として活躍



「ひとつずつできるようになることがやりがい」

I.A さん（27歳）

事業内容：トラック

職名：トラック運転手

令和6年より運転手として活躍



Q1.運転手を目指したきっかけはありますか？

K.Hさん：もともと乗用車の**運転をすることが好き**で、仕事に活かしたいと思いトラックの運転手を目指しました。
タクシーやバスなど運転手にも種類があるなかで、トラック運転手を目指したきっかけは、体を動かすことが好きで**自分で積み下ろしをしたい**と思ったからです。

I.Aさん：免許を持っていれば**できる**ということ、女性が働くに
しては給料がいいこと、会社と家が近かったことが決め手になりました。

Q2.入社について、家族や友人の反応はありましたか？

K.Hさん：「頑張ってね」と応援されました。心配されることもありませんでした。

I.Aさん：夫がもともとトラック運転手なので「頑張れ」と言われました。

Q3.入社前の印象と実際の印象等に違いはありましたか？

K.Hさん：運転手の方々に対して、大きいトラックを運転できてすごいと思っていました。

入社してみて横乗り期間を長く設けてもらうなど、**自分に合ったペースでできる仕事**だったためすごくいいなと思いました。**雰囲気も良く、わからないこともすぐ教えてくれるので働きやすい**です。

I.Aさん：運送の仕事は時間が長く大変なイメージがありました。ですが、仕事の内容によって異なり、大変なときでも**みんなで協力しワイワイ**しているのが楽しいです。職場の雰囲気は良いと思います。



Q4.入社後に知った会社の魅力的な制度はありますか？

K.Hさん：福利厚生がしっかりしていて、トレーニングジムを活用できるので休みの日や仕事が早く終わった日に利用しています。また、**会社の中がすごくきれい**なので、出勤する際には**心が晴れた状態で出勤**できます。

I.Aさん：育児をしているので勤務時間を子供の送り迎えに間に合うように調整していただいています。**時間の融通がきき、休暇も取りやすいため子育てしながらも働きやすい環境**にあると思います。

Q5.運転をするなかでのやりがいを教えてください。

K.Hさん：やりがいは**コンビニなどで配達した段ボールを見ること**です。**配達してよかったな**と思います。

I.Aさん：**様々な場所に行けること**が楽しいです。今までだと南は千葉の市原、神奈川の平塚、北は新潟の長岡などに行きました。また、道の駅に行くことも楽しいです。

Q6.大変だった経験、苦慮した経験はありますか？

K.Hさん：苦労したことは間違えて荷物を運んでしまい、一度戻り積み直しをしたことです。**きちんと確認することが大事だ**と感じました。**対人関係で困ったことはありません**。

I.Aさん：荷物を下ろすときは自分が会社の代表としていくので、**業界用語などはわかっていないといけないことが多い**ですが、わからないこともあります。

Q7.自家用車（普通車）との違いや、心がけていることはありますか？

K.Hさん：**ミラーや目視できちんと確認しています**。乗用車よりも長い分、トラックの後方をしっかりと見ています。

I.Aさん：内輪差があるので、大きく回ることです。トラックは乗用車よりも、**車高が高く周りが見やすいので運転はしやすい**です。力もあまり必要ないため、**運転は快適で疲れにくい**と思います。

Q8.1日の勤務の流れを教えてください。

K.Hさん：出社（大体8時）→トラックの日常点検→点呼→プレス・積み込み→乗務→配達。積み込みから配達の流れを1日に2、3回繰り返して終了になります。配達場所が毎回異なるため、道を覚えることは大変です。仕事が終わる次第で帰宅になるため、大体16時～16時半には退社しています。

I.Aさん：8時前くらいに出社し、県内での配達を何度か行い、16時～17時頃に退社となります。

Q 9 .全国的に運送事業者における運転手不足が深刻となっています。若手運転手から見て、運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか？

K.Hさん：トラックが大きく運転が怖いということと、積み下ろし作業が大変だと感じる部分はあると思います。友達には「運転手に見えない」「積み下ろし大変そう」「フォークリフト自分だったら乗れない」といったことを言われるので、「意外と大丈夫だよ」「なれるよ」と返しています。

I.Aさん：長く寝ることができないなど、昔からのイメージがついてしまっているからだと思います。また様々な仕事内容があるなかで、知られている情報が少ないといったこともあると思います。

Q 1 0 .若年層が運送事業の運転手に興味を持つためには、こういったことが必要と考えますか。

K.Hさん：他の運送会社さんのSNSを見ても通常業務の説明や、トラックの紹介などの内容が多く、わかりやすくていいなと思います。自分も車両の説明や福利厚生、日常をあげている動画を何度も見ていました。運送業について知らない人も多いと思うので、普段の動きをSNSで見ること興味を持つと思います。

I.Aさん：トラックに乗ってしまえば、一人の時間で自由になるため運転が好きでなくても快適に感じると思います。
また、トラックドライバー同士のつながりで話が合うことも楽しいです。ドライバーだけでなくドライバーの奥さんとのつながりを持つことも多いです。

Q 1 1 .若年層運転手の採用を求める企業はどういったアピールが必要だと考えますか？

K.Hさん：SNSを通して宣伝することが重要だと思います。自分はHPや近くを通った時に群馬通商を見て、すごくきれいな会社だと思っていました。

I.Aさん：今は自由が求められていると思います。髪型やネイルなど、男女関係なく縛られない環境が必要だと思います。

Q 1 2 .最後にお二方の目指すキャリアアップと、今後運転手を目指す若年層の方々へメッセージをお願いします。

K.Hさん：今は4トン車に乗車していますが、大型の免許を取りたいです。いずれ免許を全部取りたいです。

想像よりも仕事内容はきつくないと思うので、昔のようなイメージと異なり若い方でも問題なくできる作業だと思います。運送業界の世間一般的なイメージではなく、働きやすく女性でも活躍できます。

I.Aさん：トレーラーの免許を取りたいです。

慣れれば大変ではないですし、今までできなかったことができるようになることにやりがいを感じていくと思います。免許さえあれば働くことができるので、免許を持っていることが強みになると思います。



群馬通商株式会社

求める人材

「仕事に対する熱意を持っている人」

人事担当者インタビュー

今回、若手運転手のインタビューに併せ、運送事業者側の求める運転手像や自社のアピールポイントについて人事・採用担当者様にインタビューを実施しました。

☆渡部常務、石井本部長、新山さん

Q1.今回、若手運転手を採用するに至った経緯を教えてください。

勤続20～30年のドライバーが多く、**年々定年退職される方が多くいました**。
ドライバーの減少に伴い車の数を減らすなどしてきましたが、運送需要に対応すべく若い方を採用することにしました。また、弊社のほうで求人を出しており**HPからのお問い合わせが非常に多い**です。大体20代の方から「HPを見ました」「運転手さん募集していますか」というお問い合わせをいただきます。

Q2.若手運転手を確保する上で工夫している点、その他の雇用促進に係る取組みがあれば教えてください。

近隣の教習所でトラックに乗務できる免許を取得に来ている教習生に、教習所側から弊社を案内して下さっています。また、弊社のHPで求人をかけており、「経験者募集」ではなく「**初心者歓迎**」としています。

求人の話のなかで、相手の希望する車両を募集していないケースも多く、そういった場合には、履歴書を用いた面接ではなく面談というかたちで、やりたい業務や乗りたい車両についてお話することもあります。

Q3.運転手に対する手当や会社の福利厚生等を教えてください。

トレーニングジム、ゴルフのシミュレーションといった**社員専用のジムを設けており、男女ともに広い浴場を完備していますが、男性側の浴場のみサウナを併設しております**。また、理学療法士免許を取得したりリハビリテーション分野における専門のパーソナルトレーナーがついており、「運転するうえでここを鍛えれば首や腰に負担がかかりにくいよ」などとドライバーに指示してくれます。そのため、仕事終わりに少し運動し、お風呂に入って帰宅する方も多いです。

Q4.雇用促進に関して工夫していることを教えてください。

求人のサイトからも他社はトラックや荷積みの作業風景を多く掲載しているが、弊社の場合はジムのことを主に掲載しているといわれるほど、**全面的に福利厚生をPR**しています。仕事はトラック運転者ですが、**うちの会社で働いて体も健康にできます**ということをアピールしています。

免許取得や研修における支援に関しては、トラック協会から補助金を頂いており、中型に乗っている若い世代には「大型や牽引に興味はないか」と声をかけ、乗りたいという話があれば教習所へ通えるようにしています。

働き方については、**働きやすい職場認証制度の一つ星**を持っています。会社自体が若い方や女性に関して理解があり、女性だけでなく男性にも休職の制度があります。

群馬通商株式会社

人事担当者インタビュー

Q5.どのような人材を求めていますか？

仕事に対する熱意を持っている人です。面接・面談をしたときに感じるものから判断をし、研修を通しての**運転の技術能力や仕事をする熱意**を大切にしています。

Q6.若手運転手を雇用し社内に変化したことはありますか？

年配の運転手が多いため**20代の女性が運転手になることに驚いています**。20～30代の方に刺激されてだいぶ活気づきました。私が見て若手のドライバーのなにがすごいかというと、若者はもうこんなに大きい車を運転できるのかというように**可視できる面が多く成長が早い**と思います。

Q7.事業者から見て運転手を目指す若年層が少ない原因について率直にどうお考えですか

車に興味のない方が多く、「**いい車に乗りたいと感じない**」「**乗用車に興味がなく、軽自動車がいい**」「**乗ればいい**」といった声が多いと思います。車に興味がないと、運転手という仕事はトラックに限らずタクシーやバスでもなかなか興味の一つとして挙がってくることが非常に低いと思います。

昔から3Kと言われていて、その**イメージが払拭されていない**からだと思います。運送業界はどうしてもそのようなイメージがあり、若年層の方が知らないとしても親御さんたちからそのような悪いイメージを伝えられている方が一部引っかかっているのかなと思います。また、モラルの欠けるトラック運転手をメディアで連日報道すると「**怖い**」などのイメージができてしまいます。そうした**先入観や報道のされ方も影響している**と思います。



Q8.最後に運転手を目指す方々へのメッセージをお願いします。

町の狭い道でトラックとすれ違うと「**大きい車邪魔だな**」と思うかもしれませんが、いざ**運送業界に入ってみるとすごいな**と感じると思います。SNSの活用やカスタム車両など目に見えるものでアピールを行い、**群馬通商ならではの魅力**を作っていくことが重要だと考えています。

今回、群馬通商株式会社様のご協力もあり、若手運転手インタビューを実施することができました。群馬通商株式会社様には感謝申し上げます。
インタビューを通して女性も働きやすい環境が整い、設備面でもとても充実している会社だと感じました。子育てをしながらでも働きやすい環境づくりやトラック運転手へのマイナスイメージをメディア等を通して払拭することの重要性を感じました。また、会社側の福利厚生が手厚く、運転手さん自身がやりたいことに挑戦しキャリアアップができることに魅力を感じました。

運輸支局M

後記

インタビュー